

一般社団法人 日本健康心理学会
第 33 回大会のご案内＜1 号通信＞

ご挨拶

仙台は、青葉通りや定禅寺通りの欒並木の新緑が美しい季節を迎えました。しかし今年は、新型コロナウイルス対策のため街中も閑散としているようで、定禅寺通りで9月に予定されていた恒例のジャズフェスティバルも、中止のニュースが流れたばかりです。

さて、日本健康心理学会第33回大会準備委員会では、故・本明寛理事長と故・北村晴朗大会委員長のもとで行われた2001年の第14回大会以来19年ぶりの仙台での開催に向けて、1年以上前から準備を進めてまいりました。今年に入り新型コロナウイルスの蔓延という思いがけない事態となって以降も、理事会のご指導の下で、通常開催に向けた作業を進めてまいりましたが、このほど最終的に、今年度は通常の大大会開催をしないという理事会決定がなされました。

仙台での開催を楽しみにして頂いていた会員の皆様には大変申し訳ありませんが、大規模な人の移動や集合を防ぐという観点から、やむを得ない事態と存じます。準備委員会としては、ここで役割を終えることとなりますが、学会が主催するバーチャル大会という形式で研究交流がなされることを、新たなチャレンジとしてポジティブにとらえたいと存じます。

1号通信の冒頭でこのようなご挨拶をすることになるとは、数か月前には想像もしなかったことでした。しかし、感染症対策としての人々の行動変容や、感染への不安や流言などに対する心理的支援は、まさに健康心理学の重要な課題の一つと思われます。会員の皆様がご自身の健康を守りながらも、それぞれの場でお力を発揮なさることを祈念いたしております。

日本健康心理学会第33回大会準備委員会

委員長 堀毛裕子（東北学院大学）

事務局長 金井嘉宏（東北学院大学）

委員 東海林渉（東北学院大学）

委員 中村 修（東北福祉大学）

委員 友野隆成（宮城学院女子大学）

委員 前田駿太（東北大学）

理事長挨拶

日本健康心理学会第33回大会準備委員会では、かねてより11月の開催に向けて準備を進めて頂いております。準備委員会の先生方のホスピタリティあふれる構想とご尽力に、心より感謝申し上げます。会員の皆様も、旅情あふれる仙台での開催を心待ちにしておられたことと思います。

しかしながら昨今の新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みますと、大会の開催形式については、慎重に判断する必要があると考えるに至りました。ただし、このような状況の中でも研究発表の準備を進めてこられた方々の発表の場として、会員の研究交流を続ける場として、そして学会の社会発信の場としても、年次大会は大きな存在感を持っています。

そこで今年度に関しては、その形態を柔軟に捉え、年次大会の機能を絞り込んだ上での「ウェブ開催」とさせていただければ幸いです。ホームページ上で研究発表を行い、情報通信機器を使って意見交換することを考えています。主催を日本健康心理学会とし、ウェブ上にバーチャル大会の会場を設けたいと思います。

発表予定の皆様方におかれましては、予定されていた準備をお進めください。ウェブサイトから発表を申し込み、抄録等を作成していただく手順については、この1号通信に記載されている通りです。

加えて今年ならではの特色として、年次大会の参加費を「無料」にさせて頂くことにいたしました。我々にとって、移動をせずに大会に参加し、自分の机の上に学会会場を出現させ、物理的および経済的制約が軽減される意味では、大会がより身近なものになる年ともいえます。皆様の積極的なご参加とご発表をお待ちしております。そしてこの機会に、新たな会員をお誘いいたしますようお願いいたします。

新たな交流方法を立ち上げた本年が、本学会にとって新たな歩みの始まりの年となるようお願いしております。それではバーチャル大会でお目にかかりましょう。皆様どうぞよろしくようお願いいたします。

日本健康心理学会 理事長 田中共子

<1号通信／発表論文集原稿作成投稿要領>には次の1点が同封されています。ご確認ください。

(1) 日本健康心理学会第33回大会のご案内／発表論文集原稿作成投稿要領(本紙)

I 会期 2020年(令和2年)11月 (詳しい期日は後日学会ホームページでアナウンスします)

II 内容

学会ホームページにおけるWEB開催とし、WEB上でのポスター発表を中心とします。

シンポジウムについては現在検討中です。

○一般研究発表

会員による一般研究発表はポスター発表形式のみです。「大会発表論文集 (WEB公開) への論文掲載」と「開催期間中のWEB上へのポスターの掲載」の2条件を満たすことが公式発表の要件となります。

III 一般研究発表の申し込みについて

1. 発表者の資格

- (1) 一般研究発表の筆頭発表者は、申込時に正会員である必要があります。なお、筆頭発表者となるのは1人1回に限ります。
- (2) 連名発表者は、正会員でなくてもかまいません。
- (3) 日本健康心理学会準会員は、筆頭発表者が正会員の発表において、大会準備委員会の承認を経ることなく連名発表者となることができます。
- (4) 日本健康心理学会学生会員(学部生)は、発表者になることはできません。
- (5) 現在は正会員でない方が筆頭発表者になることを希望される場合は、7月6日(月)までに、学会事務局へ正会員になるための申請をしてください。
- (6) 現在正会員であり、発表者になれる予定の方は、2020年度の年会費を学会へ納入済みである必要があります。

2. 申し込み方法

- (1) 大会ホームページにて受付を行います。
※受付はすべてインターネット経由とし、FAXや郵送等による受付は行いません。
- (2) 一般研究発表は、7月22日(水)までにお申し込みください。

3. 発表論文集原稿

- (1) 原稿は、別紙の「発表論文集原稿作成投稿要領」をご参照の上、作成してください。PDF形式のみでの受付となります。なお、大会ホームページからテンプレートファイルをダウンロードできますのでご活用ください。
- (2) 原稿受付は、大会ホームページで行います。7月22日(水)までに提出してください。

IV 大会への事前参加申込について

事前参加申し込みは必要ありません。

V 申し込み期限 (一覧)

◇ 一般研究発表への申込と原稿投稿の期限

6月1日(月)～7月22日(水)

大会事務の効率化のため、期限の厳守をお願い申し上げます。

VI 諸費用について

今回の大会では、大会参加費は徴収いたしません。ポスター発表者も発表費は必要ありません。

VII 今後の予定

大会ホームページおよび学会ホームページにおいて、随時お知らせいたします。

VIII 大会に関するお問い合わせ先

大会ヘルプデスクを設けています。ご不明な点がございましたら、どうぞお問い合わせください。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
日本健康心理学会第 33 回大会ヘルプデスク
E-mail: jahp-desk@bunken.co.jp FAX: 03-5227-8632
※お問い合わせは、できるだけ E-mail でお願いいたします。

以上

日本健康心理学会 第33回大会 発表論文集 原稿作成投稿要領

I 発表の形式と投稿方法

1. 一般研究発表

1) 投稿方法

大会ホームページ上の発表登録システムにて、ファイルのアップロードによる投稿となります。投稿の手順は、大会ホームページ(<http://jahp.wdc-jp.com/conf/33rd/>)にてご案内いたします。

2) 投稿形式

投稿時のファイル形式はPDF形式のみでの受付となります。大会ホームページ上でのPDF変換用システムは本大会から使用できなくなりました。各自でPDFファイルを作成してください。

3) 投稿期限

2020年7月22日(水)

II 一般研究発表の原稿ファイル作成方法

1. 論文の構成

- 1) 原則として、目的、方法、結果、考察などの項目に分けて記述し、科学論文の要件を満たしてください。
- 2) 発表の際には利益相反の開示が義務づけられています。利益相反とは、研究によって社会に還元される公的な利益、および産学連携等によって生じる私的利益、これら二つの利益が研究者個人の中に生じる状態を指します。利益相反の状態自体は問題ありませんが、研究を支障なく進めるために情報開示を行う必要があります。利益相反関係にある企業の有無および有の場合は企業名を明記するようお願い致します(例1. 利益相反開示: 発表に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業などはありません/例2. 利益相反開示: 発表に関連し、〇〇製薬会社と利益相反関係にあります)。
- 3) 所属する組織および研究が行われる組織の倫理委員会等による承認、データの開示と保管において個人情報保護に適切な配慮がなされているか、研究を進める上で研究協力者の同意が得られているか、個人を特定できないよう十分にプライバシーが守られているか等の倫理的配慮についても記載をお願いします。

2. 用紙と作成方法

- 1) 原稿はワードプロセッサなどを使用して、A4判用紙1枚にまとめて作成してください。
- 2) 作成にあたっては、ご自身の責任で個人情報の保護、知的財産権の扱いに十分ご留意ください。
- 3) 大会ホームページに原稿作成用テンプレートファイルを用意する予定ですので、ダウンロードしてご利用ください。

3. 書式・レイアウト (p.7 図1参照)

- 1) 用紙は縦置き、文面は横書きです。
- 2) 上下に20mm, 左右に16mmの余白を取ってください。
- 3) 1行目にタイトル, 2行目に発表者氏名・所属, 3行目にキーワード(3語～5語)を書いてください。
- 4) 発表者が複数名の場合は、責任発表者の氏名の前に○印をつけてください。この部分が全体の1/5程度に収まるようでしたら、行数が増減しても構いません。
- 5) 本文は2段組で、1段あたり27文字×40行程度を基本としますが、文字数・行数は適宜調節してください。ただし、上下左右の余白サイズは変更しないでください。

- 6) 本文の最後の行に、発表者全員の氏名をローマ字で記入してください
(例. KENSHIN Taro)。
- 7) フォントサイズはタイトルが18ポイント、氏名・所属が10.5ポイント、キーワードと本文は9ポイントを基本とします。
- 8) フォントは本文のみ「MS 明朝体」とし、タイトル、氏名・所属、キーワード、中央大見出しの目的・方法・結果・考察については、「MS ゴシック体」を基本とします。
- 9) 原稿には、ページ番号、ヘッダー、フッターなどを挿入しないでください。

図1. 発表論文集原稿の基本形式

